

旭区内で震度3以上の地震が発生したら 438.08MHzで声を出そう！！

※出られる局は438.08MHzで声を出しましょう。

方法：

何局かが集まったら、最初にQRVした局が暫定的にセンター局（統制局）をやりましょう。

※センター局が不慣れな場合は、他局に依頼しましょう

目的：

- 軽微な地震発生をきっかけに会員同士がQSOをする機会を作る。
- 先ず、揺れの状況等の情報交換を行い、問題がなければ、時間のある局は一般のQSOに移行する。
- 運用実績の少ない会員にQSOの機会を設け、FMモードのブレイクタイムの必要性を実践で学んでもらう。

運用：

- 運用時間は30分を目途とする。

その後、個人的なQSOの継続は自由です。

- 震度5強以上の場合は、先ず自分と家族の身の安全を確保し、非常通信マニュアルによって冷静に行動する。

※震度に関係なく身に危険を感じた場合はこの限りではない

- 周波数の使用状況によって438.08±20KHz前後QSYするが、状況によって呼出しチャンネル（433.00）でサブチャンネルに誘導する場合がある。